

2012年度第1回多摩デポ理事会

1. 日 時：2012年4月18日（水） 午後6時30分から
2. 場 所：国分寺労政会館 第二和室
3. 議決権のある理事：8名、出席理事：6名
出席者：座間直壯、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、平山恵三、矢崎省三

4. 報告事項

(1) 第1号議案 会員の動向について【報告】

- ・2012/4/1 現在 正会員 100名、3団体 賛助会員 42名、2団体

(2) 第2号議案 多摩デポブックレットの売り上げ状況および7号について【報告】

- ・3月末現在在庫（けやき在庫含む）

① 134/1000 ② 218/1000 ③ 368/1400 ④ 462/1200 ⑤ 287/1000 ⑥ 454/1000

- ・7号 → 再校中、表紙色はピンク系、発行は5月総会時（1,000部 52ページ 税込630円）
タイトル『多摩を歩いて三七年半 ～街・人・暮らし・図書館～』

(3) 第3号議案 図書館資料の里親探しについて【報告】

- ・成立し除籍館から資料を引き取った後にキャンセルになったものがあった（初めての例）。
- ・シリーズ本の欠本の探索依頼あり。横断検索や通信同封のチラシ等、可能な範囲で対応。
- ・2011年度結果（報告別添）。今年度成立29冊（4/17現在）。
- ・基本的な全集や参考図書で状態の良い本について、東日本大震災で施設・蔵書を失った図書館の今後の再建時に活用できる可能性があるものを厳選して受入を開始した。検品・リスト化後、まずは多摩地域での活用可能性を再度検討する。その後残ったものを一時保管。被災地の状況に合わせ、時期を見計って県立図書館経由での情報提供やHPへのリスト公開などを行う。

(4) 第4号議案 東日本大震災への支援活動について【報告】

- ・陸前高田市立図書館郷土資料救済支援協力

第1期活動への協力は終了（報告別途済）。第1期活動の結果を受けて、岩手県立図書館が4/16に資料のリスト化を終わらせ、国立国会図書館や日本図書館協会資料保存委員会等とも相談の上、今後の計画をたてる。その内容により、多摩デポとして引き続き協力をできることがあるか検討する。

- ・大槌町立図書館への支援

3月に釜石市の文書レスキューに行った会員へ釜石市の支援関係者から「大槌町立図書館の資料のバックアップを遠野市がおこなっているが、そのバックアップを多摩デポができないか」と話があった。大槌町や遠野市からの直接の打診や依頼ではないので、情報の確認が必要。

(5) 第5号議案 館長会と都立の動きについて【報告】

- ・人事異動

<都立図書館関係>

都立中央図書館管理部企画経営課長 吉井英司（←福祉保健局）

〃 サービス部資料管理課長 工藤重定（←情報サービス課長）

〃 〃 情報サービス課長 林 輝生子（←生活文化局旅券課）

都立多摩図書館長 斎藤純一（←水道局）

<市町村立図書館関係>

（館長）多摩市・片岡→小林、国分寺市・堀→山崎、立川市・清水→小宮山

他に、八王子市、府中市、武蔵村山市、羽村市、梶原村、瑞穂町で異動のよう

4. 協議事項

(6) 第6号議案 2012年度総会に向けた対応について【協議】

日時：5月20日(日) 午後2時～3時 (定足数：52)

場所：国分寺労政会館第1会議室

内容：2011年度事業報告

2011年度決算報告(同監査報告)

2012年度事業計画

2012年度予算

- ・2011年度決算報告案について討議、了承。監査は4月29日予定。
- ・事業報告および事業計画について
 - 議案書案をもとに討議、文言の修正や文章整理が必要なところを指摘した。事務局で整理し、MLで確認し議案書を作成する。
- ・2012年度収支予算案について討議、了承。震災支援関係の予算計上をどうするかについては、平山副理事長・事務局で検討する。
- ・パネルディスカッション(案)「多摩の共同保存のいままでとこれから」
午後3時10分～4時30分
パネリスト：中村照雄氏(八王子市生涯学習センター図書館長)、手嶋孝典理事、
田中ヒロ理事
コーディネーター：齊藤誠一事務局長
 - フロアからの発言の時間をとり、会員相互の交流を図るとともに、共同保存のこれからについて、会員外の方も含めみんなで考える場にする。
- ・終了後懇親会を行う。
- ・役割分担確認

(7) 第7号議案 多摩デポ通信第22号の発行について【協議】

- ・日程：4月26日発送作業予定
- ・内容：理事長あいさつ、総会案内、東大和除籍候補資料検索終了、東京都多摩地域公立図書館大会、多摩デポ講座感想(12回、13回)、書庫訪問、多摩デポブックレット7号、陸前高田市立図書館資料救済支援活動報告、会の現勢
 - 内容について了承

(8) 情報交換

・東京の図書館をもっとよくする会、都立図書館を考える会2団体が3月21日都議会に陳情を提出した。陳情は3月29日の本会議で文教委員会に付託され、6月定例会の前＝5月下旬の文教委員会で審議される予定。

内容は、新都立多摩図書館の建設計画に対して、「都民の貴重な財産である蔵書を保存する書庫を確保し、将来の蔵書の増加に対応するスペース拡充を可能とすること」「来年度から新・多摩図書館の運用開始まで、都立図書館が1冊しか所蔵しない資料を保存するスペースと、管理・出納する態勢を確保すること」の2点。

次回の理事会 月 日() 午後6時半

次回の事務局会議 5月12日(土) 午後6時半 調布たづくり11F 5番テーブル